

地域参加型温暖化対策としての 「ご当地エネルギー地産地消」の 仕組みづくり・協働・実装

活動地域  日本全域

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

セミナー・ ワークショップの実施	4件
国際会議・ シンポジウムへの参加	3件
今年度計画の達成度	60%
全体計画の達成度	75%



「地域版GX」をテーマにしたシンポジウム

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

スキームの検討から各地域での具体化の段階で関係者の合意や採算面での検討等に時間を要している。

■ 工夫した点

これまでのオンラインでの交流からオフライン・オンライン併用での知見の提供や交流を行い、多くの関係者を巻き込んで協働を進めている。

課題

系統制約やFIT価格の低下等事業環境が厳しくなるなかで、全国各地のご当地エネルギー事業を支援し協働で取り組める新たな社会ビジネスモデルが課題。

目標

- 非FIT・ポストFIT環境下で新たな地域エネルギー事業を10地域増やす
- 国際的な協働事業を少なくとも一つ以上立ち上げる

活動内容と成果

今年度はオンライン・オフライン併用で知見の共有を行い、新たなビジネススキームの構築や協働の可能性を探った。国内では地域版GXに関わるテーブル対話や知見の共有、海外では国際会議やシンポジウムに参加し、日本への示唆等を得た。ご当地エネルギー・インターンプログラムでは、神奈川県小田原市に3人を派遣し、オンラインでのインタビューも4地域に10人以上が参加して人材育成に貢献した。



国際会議で日本の状況をプレゼン

全助成期間の活動を振り返って

「ご当地エネルギー地産地消」の仕組みづくり・協働・実装を進めるにあたって、制度面・技術面・コスト面での課題を特定し、解決の方策を検討してきた。制度面での転換には時間がかかるが、現状でも可能なご当地エネルギー地産地消のビジネススキームを具体化し、地域で実践していくことは当協会だからこそできることであり、今後も地域に資する取組みを続けていく。



小田原でのご当地エネルギー・インターン

今後の展望

当面、各技術の知見を集めるとともに、金融機関や資金力を持つ電力小売事業者との協働、再生可能エネルギー電気の調達を目指す企業との連携等を進めながら制度面の提案も行っていく。また欧州や途上国との国際的な協働をさらに進め、知見の提供や支援を行う。地域のエネルギー事業に関心を持つ学生や若手社会人の育成を各地の会員と連携して進める。

〒160-0008
東京都新宿区四谷三栄町16-16
電話：03-3355-2212
HP：https://communitypower.jp/

